

nagomi no hiroba

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数200文字以内。写真は、1枚につき50文字以内。（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月10日  
 ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。  
 ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

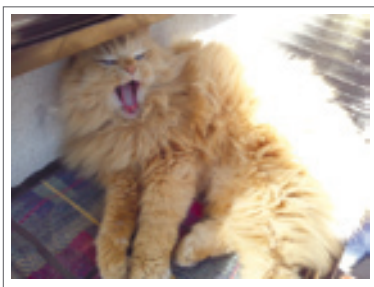
〒895-2511  
 伊佐市大口里1888番地  
 市総務課広報係（大口庁舎）  
 「和みのひろば」係  
 ☎1311  
 ☎1116・1117  
 ✉koho@city.isa.lg.jp



友だちの結婚式に行きました。モデルみたいにきれいな友だちの旦那さんってどんな人だろうと興味津々でしたが、普通の人で、背の高い友人に比べると背も低い。誓いのキスでも膝をまげる姿に会場からは、少し笑いもおきました。照れ笑いする二人を見て、「結構普通の人ね」「性格いい人なんじゃない」と一緒に話す独身の私たち。焦る気持ちも薄らいだころ、年賀状で届いた、照れ笑いする結婚式の写真。はあ、幸せ分けてほしいよ。

（羽月 ともちん 30代）

退職して数年、毎日の日課といえば、畑に通うことだ。季節の野菜や花を育て、まるでわが子のように。愛情そそぎ育てているが、それ以上にかわいいのが「孫」。学校帰り一緒に畑へ行くのも普段の風景。じいじが作った野菜は、うまいぞ、この花もきれいだらうとあれこれ作業してい



わが家のわがママ家族 愛猫「ぶーちゃん」のひなたぼっこ  
 （曾木 姉ちゃん 30代）

今月から、お便りのほかに写真も投稿できるようになりました。文章は苦手という人も身近にある風景やペットの写真など広報までお寄せください。

たら、孫が「じいじ、枯れたお花はちぎるんだよ。」と一言。学校で覚えたことを教えてくれるようになった。孫の成長に喜び感じる毎日である。（羽月 もぐら 60代）



人口のうごき  
 （住民基本台帳から）

H25. 2. 1 現在（前月比）

総人口	29,169人	（- 55）
男	13,492人	（- 35）
女	15,677人	（- 20）
世帯数	14,193世帯	（- 20）



編集後記

年末年始に続けて祖母を亡くし、大切な人の死について考える機会がありました。流せるだけの涙を流し、深い悲しみも感じましたが、今自分が生きていることや家族にも感謝できました。幸せだった思い出を語りながら、少しずつ悲しみが和らいでいくのだろうかと思っています。

でも、今月号を編集しながら、「生と死」について考える場面が多くありました。突然に人生を奪われた被災地の皆さんや悲しみをゆっくり癒すこともできないまま自らの役目にまい進まれた石巻の消防士さんの話。被災地の今について、「南三陸だより」のコーナーでも紹介しています。

「生きよう」と願う人とは逆に「健康のコーナー」では、「諦めよう」とする人の話もあります。身体と心が疲れたと感じたらまず相談してみよう。「あなたがいなくなったら悲しむ人があるのだから」